

## 第2回 SPARC Japan セミナー2018

オープンサイエンス時代の  
クオリティコントロールを見通す

2018年10月25日(木) 10:10-16:10

国立情報学研究所 12階会議室



登壇者 (敬称略)

Rebecca Lawrence

F1000

Ben Seymour

情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

武田 英明

国立情報学研究所

坊農 秀雅

ライフサイエンス統合データベースセンター

栗山 正光

首都大学東京

八塚 茂

バイオサイエンスデータベースセンター

林 和弘

科学技術・学術政策研究所

オープンサイエンスは科学のあり方そのものを変容させることを予見しており、学術雑誌の電子化にとどまらずICTを活用した様々な成果公開の試みなどがすでに取り組みられています。その際、オープンに公開される情報の質が保証されることで、安心して利活用が進み、オープンサイエンスも進展します。学術雑誌が電子化される前から質の保証の手段である査読（ピアレビュー）のあり方は常に議論されてきましたが、電子化とオープン化によって、オープンピアレビュー、軽量査読など質の保証についても様々な試みが生まれています。

ICTの発展とオープン化が新たな研究環境を生み出している中、特定の研究者コミュニティ内のピアレビューを超えて、分野間、あるいは、市民を含む誰もが科学研究に参加できる場において、質の保証を行う仕組みをどう開発していくかは今後の学術コミュニケーションを見通す上で非常に重要なポイントとなります。

今回のSPARC Japanセミナーでは、オープンサイエンス時代のクオリティコントロールの方向性とコンテンツの質の保証をテーマに、現状の具体的な試みについて最新の情報共有と議論を行います。

# 当日プログラム（予定）

10:10-10:15	開会挨拶 / 概要説明 八塚 茂 科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター
10:15-11:30	ジャーナルを超えた動き： 出版者，資金提供者，機関の変わりゆく役割 Rebecca Lawrence F1000 休憩（10分）
11:40-12:20	出版におけるイノベーション-著者の視点 Ben Seymour 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター
12:20-12:50	Q & A Rebecca Lawrence, Ben Seymour, 栗山 正光 モデレーター：林 和弘 休憩（60分）
13:50-14:20	学術コミュニケーションのエコシステムの今後 ～arXivの現状から考える～ 武田 英明 国立情報学研究所
14:20-14:40	生命科学研究におけるプレプリント活用の現状 坊農 秀雅 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター 休憩（15分）
14:55-16:05	パネルディスカッション Rebecca Lawrence, 武田 英明, 坊農 秀雅, 栗山 正光 パネルモデレーター：林 和弘
16:05-16:10	閉会挨拶

参加費 無料

参加申込 下記URLよりお申し込みください。（定員70名）  
<https://www.nii.ac.jp/sparc/event/>

申込締切 2018年10月23日(火)  
※定員に達し次第締め切らせていただきます。

その他 逐次通訳つきです。  
当日はWeb上での動画中継を予定しております。  
詳細はWebサイト（上記URL）をご参照ください。

お問い合わせ先 国立情報学研究所SPARC担当  
E-mail: [co\\_sparc\\_all@nii.ac.jp](mailto:co_sparc_all@nii.ac.jp)  
FAX: 03-4212-2375

